

パートナーシップ構築宣言の拡大

令和4年12月26日

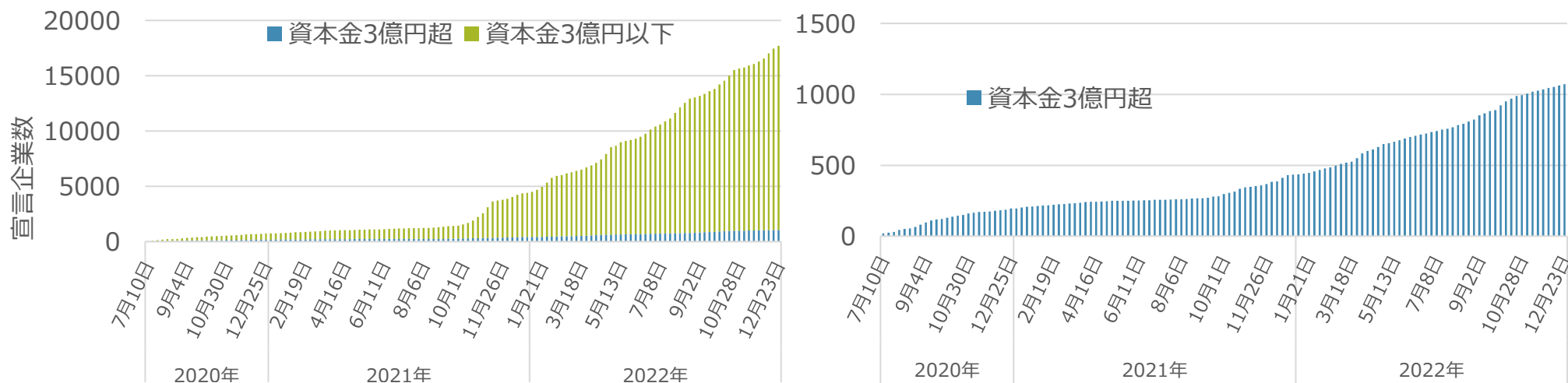
中小企業庁

パートナーシップ構築宣言の概要

- 「パートナーシップ構築宣言」は、事業者が、サプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄を目指し、「発注者」側の立場から、「代表権のある者の名前」で宣言するもの。
 - (1) サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携（オープンイノベーション、IT実装、グリーン化等）
 - (2) 下請企業との望ましい取引慣行（「振興基準」）の遵守
- 「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」（2020年5月）において、導入を決定。
- 2022年12月23日時点で17,708社が宣言、うち資本金3億円超の大企業は1,072社。

未来を拓くパートナーシップ構築推進会議

- ✓ 【共同議長】経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
【構成員】厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣官房副長官、経団連、日商、連合
- ✓ 第1回は2020年5月、第2回は2020年11月、第3回は2022年2月、第4回は2022年10月11日に開催。



パートナーシップ構築宣言の宣言企業向けインセンティブの拡大

- これまで、補助金における加点措置など、関係省庁にもご協力いただき、宣言企業向けの政策的インセンティブを拡充。令和4年度2次補正予算や令和5年度当初予算案においても、同様の措置を改めて検討いただきたい。
- また、経済産業大臣賞を新たに創設し、11月に開催したシンポジウムにおいて、グリーン化や人材マッチングなど、新たな連携に取り組む優良事例の表彰・紹介も行った。
- 賃上げ税制の申請開始も近づいており、インセンティブや優良事例の周知などを通じて、宣言拡大を働きかけていただきたい。

■ 各省庁の補助金に加点措置を導入した例

① モーダルシフト等推進事業費補助金

【国土交通省】

➡ 物流の総合効率化計画の策定のための調査事業やモーダルシフト等の初年度の経費などを支援。

② 輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業【農林水産省】

➡ 価格が高騰している輸入食品原材料の切替をした新商品等の生産・販売や、新たな生産方法の導入等の取組を支援。

■ 賃上げ促進税制の要件化（経産省）

継続雇用者の賃金を引き上げた場合、増加分の15%以上を法人税額等から控除。

（2022年4月～2024年3月に始まる事業年度が対象）

【適用要件】

【税額控除】

- 通常要件：継続雇用者給与等支給額が、前事業年度より3%以上増えていること

控除対象雇用者給与等支給増加額の15%を法人税額又は所得税額から控除

※ 資本金10億円以上かつ従業員数1,000人以上の企業については、上記の要件に加え、マルチステークホルダー方針を公表していることが必要

- 上乗せ要件①：継続雇用者給与等支給額が、前事業年度より4%以上増えていること

税額控除率を10%上乗せ

- 上乗せ要件②：教育訓練費の額が、前事業年度より20%以上増えていること

税額控除率を5%上乗せ

マルチステークホルダー方針の中で、パートナーシップ構築宣言を公表していることが必要

(参考) パートナーシップ構築シンポジウム

- パートナーシップ構築宣言の更なる拡大、意義の浸透、実効性の向上と、サプライチェーン全体での協力拡大に向けた機運醸成を目的としたシンポジウムを初めて開催。
- 経済産業大臣賞を新たに創設し、グリーン化や人材マッチングなど、新たな連携に取り組む優良事例の表彰・紹介なども行った。

日時：2022年11月25日（金）16：00～17：30

会場：ベルサール虎ノ門
※オンライン配信を組み合わせたハイブリッド形式

主催：経済産業省

後援：日本経済団体連合会、日本商工会議所

参加実績：会場 約100名、オンライン 約1,300名（企業の調達担当、渉外、経営企画等が中心）



プログラム

- 16:00-16:05 開会挨拶（経済産業大臣 西村 康稔）【ビデオメッセージ】
- 16:05-16:10 パートナーシップ構築宣言に関する経済産業省の取組（角野長官）
- 16:10-16:25 基調講演（オムロン(株) 立石 文雄 取締役会長）
- 16:25-16:40 優良企業の表彰（審査委員長 伊藤 邦雄 一橋大学名誉教授）
- 16:40-17:05 優良な取組事例の紹介（大臣賞:花王(株)、中小企業庁長官賞:(株)日立システムズ）
- 17:05-17:10 閉会挨拶（日本商工会議所 小林 健 会頭）

(参考) 表彰企業の取組概要

経済産業大臣賞：花王(株)

- 花王グループは、2019年4月にESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」を策定し、**ESG調達を推進**。
- **主要なサプライヤーについて**、国際的な評価枠組みである、CDPサプライチェーンプログラムやSedexへの回答を促し、**アセスメント結果を花王独自の視点からフィードバックすることで、ESG活動への支援を実施**。
- また、**サプライヤーとの情報共有・意見交換、表彰の場として「ベンダーサミット」を毎年開催**。

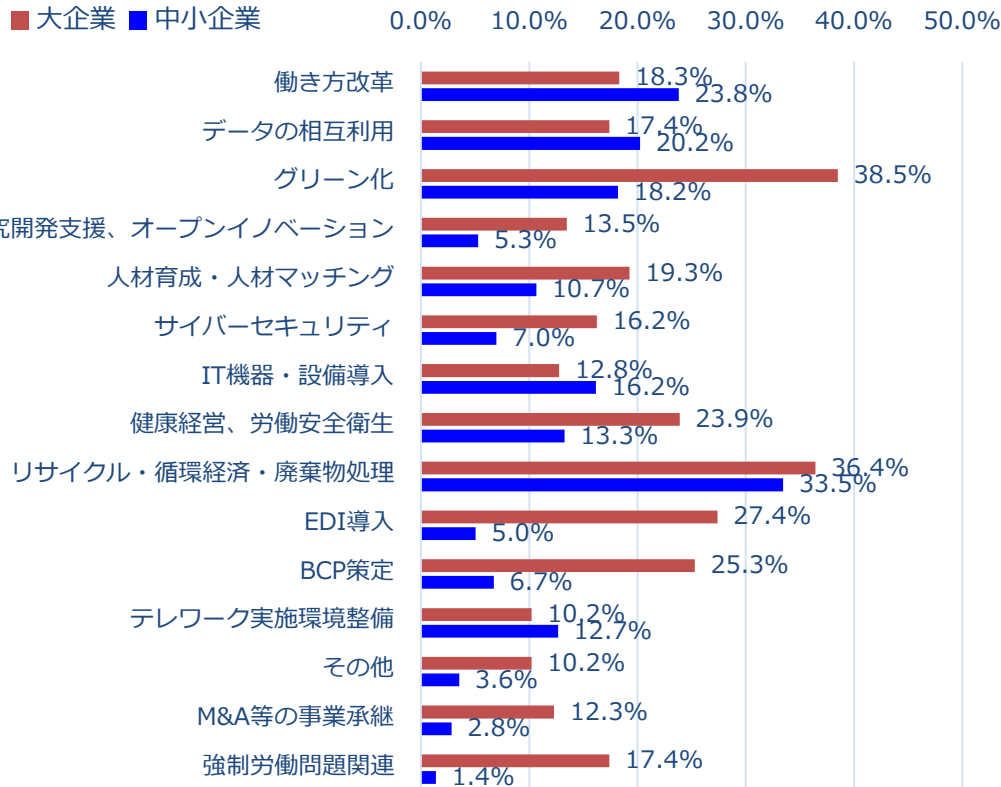
中小企業庁長官賞：(株)日立システムズ

- IT業界においては、**優れた技術力をもったデジタル人財の確保が課題**となっており、**パートナー企業と連携して解決**に取り組んでいる。
- **パートナー企業の人財**のスキルマップ情報と、同社の**プロジェクト情報**を組み合わせて、**マッチングする「人財マッチング」**の取組を推進。
- マッチングにつながる**ニーズの高いスキル情報をパートナー企業に共有**するとともに、**パートナー企業の社員向けにも教育機会を提供**。

(参考) 宣言企業のサプライチェーン全体での新たな連携の取組状況

- 宣言内容の1つ目の柱である「**サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携**」の取組状況について、宣言企業調査と下請企業調査の**両調査**で確認。
- 下請企業から期待の高い取組は、「**働き方改革の取組支援**」、「**データの相互利用**」、「**グリーン化支援**」、「**オープンイノベーション**」、「**人材支援**」、「**サイバーセキュリティ**」など。

サプライチェーンの課題への対応、共存共栄に向けて、取引先と連携や支援している取組はあるか (宣言企業調査、複数回答) (n=2966)



発注側企業(パートナーシップ構築宣言企業)に対して行ってほしい支援や連携の取組はあるか。(下請企業調査、複数回答) (n=1312)

